

MUSES-C 用蛍光 X 線分光計の電気試験と性能評価

Electric check and performance evaluation of X-ray spectrometer on-board MUSES-C spacecraft

山本 幸生[1], 白井 慶[1], 岡田 達明[2], 加藤 学[1]

Yukio Yamamoto[1], Kei Shirai[1], Tatsuaki Okada[2], Manabu Kato[1]

[1] 宇宙研, [2] 宇宙研・惑星

[1] ISAS, [2] Div. Planet Sci., ISAS

惑星、衛星、小惑星の表層元素を知る方法として蛍光 X 線を観測する方法がある。小惑星探査機 MUSES-C、月周回衛星 SELENE では X 線 CCD を用いた蛍光 X 線分光計を搭載する。X 線 CCD は比較的新しい素子であり、蛍光 X 線分光計の X 線検出器としては MUSES-C が世界で初めて使用する。X 線 CCD の特徴として、温度・駆動電圧・駆動周波数によってエネルギー分解能が変化することが知られている。本研究ではこれらの特性に対して蛍光 X 線分光計自身の特性を調べることを目的とする。本発表においては、これら特性を試験するための実験装置の紹介と、それを用いた実験結果について経過報告を行う。